

■ ターミナルキットを使った配線方法

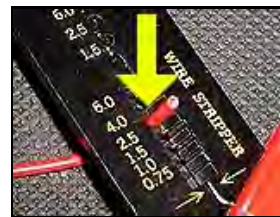
今回はターミナルパーツのプラグやソケットを使った配線の結線方法を解説します。これらを応用すると、車両ハーネス全般や各種配線の修理に大変便利です。



商品コード	商品名
200100003990	AP 9インチ ターミナルプライヤー
200100004652	AP ターミナル ギボシ型プラグ L
200100004669	AP ターミナル ギボシ型ソケット L
200100004676	AP ターミナル ギボシ型プラグ S
200100004683	AP ターミナル ギボシ型ソケット S

作業手順①

最初に、配線の被覆を剥きます。対象となる配線の太さに合わせて、矢印で示した部分を使って芯線を露出させます。露出させる部分は約4mm~5mm程度で充分です。
 ※露出部分が多すぎても後で綺麗な仕上がりにならず、またはみ出た部分がショートの原因にもなりかねません。また、プライヤーの向きは写真のようにお使いください。刃先が逆向きになると被服がスライドしにくくなります。



作業手順②

被覆が剥けると、配線の先がバラけます。露出した芯線は、ねじって先がバラけない様になります。コードの被服部分と芯線部分それぞれに圧着端子が来るようにセットし、2箇所でガッチリとカシメてください。
 ※この時に予め保護チューブ(スリーブ)を通しておきます。
 ※当社製品のギボシでは配線に合わせて二種類の端子をご用意しております。配線に合った物をお選びください。
 φ4.0mm配線 ≒ Lサイズ φ3.5mm配線 ≒ Sサイズ



作業手順③

圧着端子を電工ベンチにセットし、しっかりとカシメます。端子のカシメ部分が開き過ぎの場合は、予めベンチの先で狭めてから使用します。これを配線の被覆部分と芯線部分の2ヶ所カシメ処理します。ここで緩めて閉めてしまうと後ですぐに抜けてしまったり、接触不良を起こしてショートの原因になる場合もありますので、少々強めに締め付けておくとういでしょう。



作業手順④

これでカシメ終了です。
 このカシメ部にスリーブを被せて完成です。

※ スリーブは必ず装着してください。先に配線に通し忘れてしまった場合は端子を外し、最初からやり直してください。



作業手順⑤

今度はメスソケットを用いて、先程と同じ様に配線の被覆を剥き、カシメます。
 スリーブは長い方を使います。



作業手順⑥

最後にプラスとマイナスの配線を結線します。
注意事項としては、プラス端子側(バッテリー上流側)はメス端子と長いスリーブを使います。
これにより、作業中の不意のショートを防ぎます。
どんなに確実に丁寧な結線をして、抜き差しを繰り返す場合**使用耐回数は3回まで**です。
回数が多いと、カシメが外れる恐れがあります。

